



ICT コーナー



ICT 主任 楨本
教務主任 川島
ICT 支援員 星見

1月号

① 毎月の紹介コーナー 「小学生の SNS 利用で起こりうるトラブル例と回避方法」

(1) 「稚拙な表現による誤解」

「それかわいくない？」 ⇔ 「それかわいくない」

まったく別の意味となります。

意図した意味とは違う受け取り方をされると、人間関係を壊してしまいかねません。お互いの顔が見えず、声のイントネーションや表情が伝わらない文字のやりとりでは、言葉選びに慎重になることが求められます。

(2) 投稿内容の流出

グループや友達とのトークがスクリーンショットなどで流出したり、投稿した写真や動画が拡散したりするトラブルも発生しています。自分ではここだけの話だと思っても、相手が同じように扱ってくれるとは限りません。

(3) 「ことば選びに気を付ける」

子ども同士のメッセージのやり取りは、速いテンポかつ短文でおこなわれることが多いようです。会話感覚で反射的にメッセージを投稿するようですが、自分の文章を読んだ友達がどう思うか、誤解されないか、投稿する前に想像してみる習慣をもたせましょう。

(4) 「誰に見られても大丈夫な事」しか投稿しない

SNS を利用する以上、たとえ小学生でも自分の投稿に責任をもつ意識が必要です。

他人の悪口や、個人情報にあたることを投稿するのは、絶対にやめるよう約束させてください。「ここだけの話」が簡単に拡散するのがインターネットの世界です。他の人には言えない・見せられないことを、SNS に書き込むべきではありません。

●まとめ

言葉で言い聞かせるだけでは、モラルやコミュニケーション能力は成長しません。

小学生の間は、SNS も親の見守りが必要です。コミュニケーションに不安があるなら、投稿前に保護者がチェックする、誰とどのようなやり取りをしているか定期的にチェックするなどして、子ども任せにしないようにしてください。相手や目的によって適切な文章を書けるようになるまで、段階的に見守っていきましょう。

株式会社セコム
～「こども安全ブログ」より抜粋～

②今月の情報教育(全校で情報モラルに関する学習を朝の時間を活用して実施します。)



「知らない人とつながって…」

のどかな田園地帯で暮らす小5のヤスミ。ある日、SNSのAvatarコミュニティサイトで女子高生の「りな」と出会う。次第に仲良くなっていく二人だが…。

ご家庭でも動画の内容をお子さんと視聴して頂き、家庭ルールをご確認ください。



https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180214_00000

③保護者アンケートに関するコーナー

《Q&A》

Q, Wi-Fi はしっかり接続できていると思いますが、学校でスムーズに移行できるページなどにアクセスできず、そのままやる気をなくしてしまうことが多々あります。タブレットの操作がよくわからないため、毎回必ず何かにつまずきます。

A, 問い合わせありがとうございます。

学校で事前にミライシードやらっこたんのショートカットをデスクトップに貼るよう、教職員にも周知しました。

現在の仕様では、校内でのみ使えるフォルダが存在していて、上記の対応をしないと、家庭に持ち帰った際に、「学校と同じ手順でやっているのにできない！」と訴えが挙がることもあります。冷静にデスクトップの状況を確認し、必要なアイコンが表示されていない場合は、学校に問い合わせるか、翌日に担任へ報告して下さい。

Q, 宿題なのか何をしているか画面確認まではしていません。なので、時折宿題をしているのか不安に感じるがあります。

A, 問い合わせありがとうございます。

ご家庭で取り組む内容について、基本はドリルパークまたはらっこたんのどちらかとなっており、それ以外に課題を出す場合は、担任から必ず事前にご家庭に周知するよう伝えてあります。

ご家庭での取り組み方は各ご家庭でのルールを確認し、目の届く範囲で指導をお願いしています。取り組んでいる内容をリアルタイムで教職員が確認することはできません。お子さんと取り組む内容を事前に確認するなど、ご家庭内のルールを改めて確認してみてください。

1月号保護者アンケート

学校からのアンケートや保護者からの質問などを受け付けるFormsです。(※切 1月22日(金))

<https://forms.office.com/r/gVQEavsR5f>

